

令和6年度施設自己評価の結果について

公表：令和 7 年 1 月 21 日

事業所名 **天竜厚生会ちやるか**

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。
 事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び当事業所の運営に活かしていきます。
 今後ともご家族様と共によりよい事業所を目指していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願いいたします。

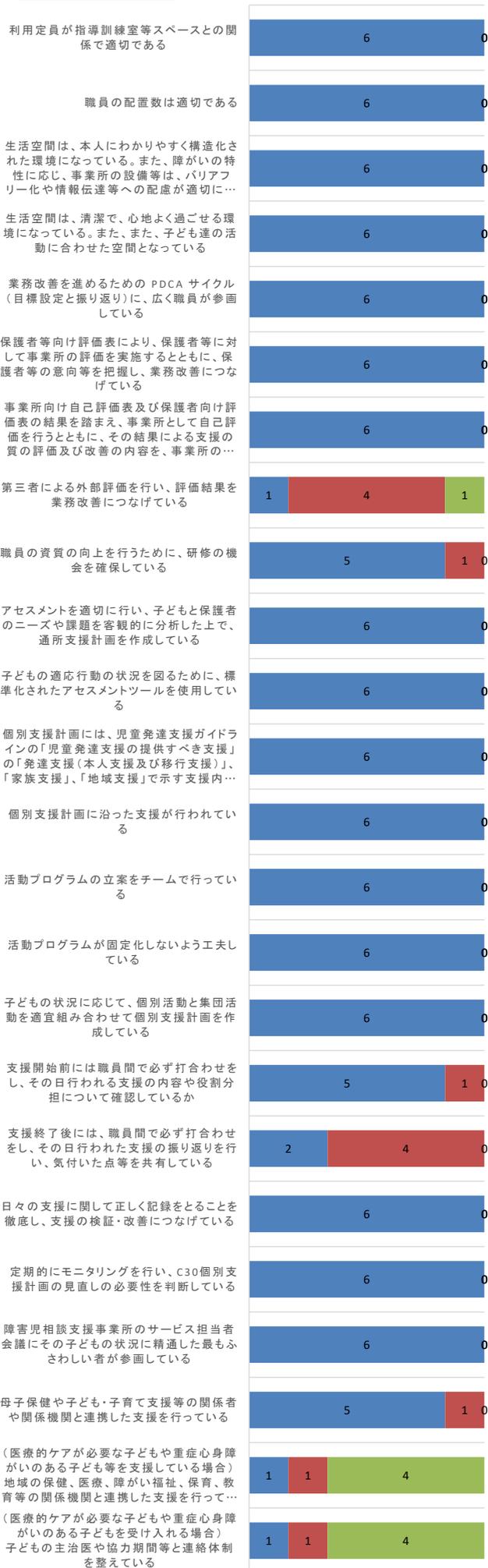
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・必要に応じてフロアを区切る、別室の利用する等、工夫している	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	・基準より以上に配置されており、急な欠席にも対応できる	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・バリアフリー化されている ・見通しも良く、使いやすい	・室内が広すぎる場面もあるため、簡易的に空間を仕切れると良いと思うことがある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	6	0	・日々の清掃で行き届かないところは、週末や時間のあるときに行うようにしている ・日々の清掃を丁寧にっており、清潔さを保っている	
適切な支援の提供	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	・月ごとに実施している ・全員に情報が行き届くよう回覧している ・個々の振り返りノートを活用している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・アンケートの実施、公表している ・意見を把握し、改善できる点は取り組むようにしている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		・現状第三者による外部評価を受審していない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		・機会はあるが、全員は参加できていないため、専門の知識がある人から学べる研修の開催等を検討していく
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、通所支援計画を作成している	6	0	・保護者のニーズや児童の課題を分析し、計画を作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・事業所で共通のアセスメントシートを使用している	

	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・5領域に基づいて計画が立てられている ・モニタリングを行い、必要な支援を設定している	
	13	個別支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・日々の記録を各職員が記入・確認できるように仕組みを整え、モニタリングがしやすくなるよう工夫している ・計画に基づいて支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・職員間で意見を出し合いながら行っている ・各自発案している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・意見を出し合い、担当を変えて立案するようにしている ・毎月様々な内容を取り入れている	
保護者への説明等	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している	6	0	・児童の状況に合わせている ・個別支援と集団においての支援のそれぞれの計画を設定している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	・朝、申し送りを行い、確認している ・その日に行えない時は、紙面で伝達しあったり、後日実施している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	・全員の参加は難しいが、なるべく振り返りを行うようにしている。また、都度気づいた点を報告している ・その日に行えないときは、紙面で伝達しあったり、後日実施している	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・それぞれが感じたこと、気づいたことを書き留めている ・日々記録を取り、モニタリング時に活かせるようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・定期的にモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	・該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合) 子どもの主治医や協力期間等と連絡体制を整えている	1	1	・該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・電話での聞き取りや訪問にて情報共有をしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・かけはしシートなどを活用し、引継ぎをしている	

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・研修等に参加している ・児発連絡会に参加し連携を図っている		
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		・併行している児童はいるが、事業所としては機会を設けられていない。保護者に聞き取りを行い、必要があれば検討していく	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	1	4			
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・連絡帳を通じてや送迎時に様子を直接伝えたり、状況に応じて行っている		
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5		・ペアレントトレーニングとしては行えていないが、保護者が集まって話す“おしゃべり会”や、参観会などの機会を設け、保護者に向けた取り組みを行っている。必要があれば検討する	
	保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
		㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6	0	・保護者と面談しながら説明し、同意を得ている	
		㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・口頭や連絡帳、電話連絡、面談等相談に応じている	
		㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	・保護者が集う、おしゃべり会を実施している	
		㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・迅速に対応するよう努めている	
㉚		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・行事予定を毎月発信している	・日々の活動の様子を知らせることができるよう、おたよりの発行などを検討していく	
㉛		個人情報の取扱いに十分注意している	6	0			
㉜		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・視覚情報等活用している		
㉝		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	・コロナ以降行っていないが、秋祭りを予定している		

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・研修、委員会、訓練を実施 ・マニュアルが策定されており、研修を実施している	・予告無しで行う等、実際の場面と同じように避難する機会を今後取り入れていきたい
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・月に1回、避難訓練を施設全体で行っている	・十分とは思えない部分もあるので、見通したり積極的に行えると良い
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・初回面接時やアセスメント時に聞き取りを行っている	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・現在は対象児がいない	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・職員会議にて事例を確認し、共有している	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修に参加して学び、対応している	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	3	2	・身体拘束についての話し合いをする機会は設けているが、現在身体拘束を行っていない	

■はい ■いいえ ■無回答



■はい ■いいえ ■無回答

